

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
220007	XYY1220007			国際学部国際文化学科 国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
コンピュータシステム	西山 茂	2	前期	情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降) 情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降) 情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度) 情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度) 情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	共通 専門 専門 共通 共通	選択 必修 必修 必修 必修	1年 1年 1年 1年 1年

#### 授業目的

ITの主役の1つであるコンピュータシステムの動作原理の基本知識を獲得することは、現代ビジネスを円滑に進めるための必要である。この観点から本授業ではコンピュータ全体とその構成要素について学習する。具体的には、コンピュータ上で使う情報の表現、入出力装置、主記憶、演算、制御などの基本装置を学習する。

#### 各回毎の授業内容

##### 第1回

- 【授】コンピュータの役割
- 【前・後】教科書の予・復習

##### 第2回

- 【授】コンピュータ内部の情報処理方法（論理演算）
- 【前・後】教科書の予・復習

##### 第3回

- 【授】コンピュータアーキテクチャとCPUアーキテクチャ
- 【前・後】教科書の予・復習

##### 第4回

- 【授】コンピュータ内部のデータ表現：2進数
- 【前・後】教科書の予・復習

##### 第5回

- 【授】データ表現：10進数から2進数、16進数への変換
- 【前・後】教科書の予・復習

##### 第6回

- 【授】コンピュータ内部のデータ表現：浮動小数点数、文字表現
- 【前・後】教科書の予・復習

##### 第7回

- 【授】コンピュータメモリ
- 【前・後】教科書の予・復習

##### 第8回

- 【授】外部メモリと外部装置
- 【前・後】教科書の予・復習

##### 第9回

- 【授】ファイル内データ表現
- 【前・後】教科書の予・復習

##### 第10回

- 【授】プログラム（ソフトウェア）実行環境
- 【前・後】教科書の予・復習

##### 第11回

- 【授】プログラム実行形式
- 【前・後】教科書の予・復習

##### 第12回

- 【授】OSとアプリケーションソフトウェア
- 【前・後】教科書の予・復習

##### 第13回

- 【授】プログラムの動作原理
- 【前・後】教科書の予・復習

##### 第14回

- 【授】コンピュータの利用法（1）
- 【前・後】教科書の予・復習

##### 第15回

- 【授】コンピュータの利用法（2）
- 【前・後】教科書の予・復習

##### 第16回

- 【授】定期試験

#### 成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

概ね以下のように評価する

- ・成績は期末試験（80%）と自己学習によるレポート課題（20%）により評価する。
- ・レポート課題は15回中で4回程度課する。時期は事前には指定しない。
- ・試験問題は、教科書、授業内配布資料、授業で使用するスライドなどから出題する。

#### 教科書参考書

- ・教科書 プログラムはなぜ動くのか  
矢沢久雄著、日経ソフトウェア監修、日経BP社
- ・参考文献 隨時紹介する。

#### 受講に当たっての留意事項

- ・情報システム学科の情報指向、経営指向いずれの学生でも身に着けておくべき基礎教養である。
- ・各回は関連性が深い。欠席はできるだけ避けること。

#### 学習到達目標

概ね以下のようない目標を設定する。

- ・コンピュータ仕組みを理解する（試験20%、レポート10%）。
- ・コンピュータがなぜ動作するのかを理解する（試験20%、レポート5%）。
- ・ソフトウェアがなぜ動作するのかを理解する（試験20%、レポート5%）。
- ・コンピュータの適切な利用法を理解する（試験20%、レポート10%）。

#### JABEE

関連する学習・教育到達目標：E

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習